

平成17年度舟入高等学校SELHi研究開発中間報告会 研究授業指導案

教 諭 川本 由美
外国語指導助手 クレイグ・ネビット
ナタリー・ヤンチャムナム

1. 授業名 『OCI』
2. 期 日 10月28日(金)
3. 時 間 4 限
4. 場 所 国際コミュニケーションホール
5. 対 象 1年 9組 20名(普通科・国際コミュニケーションコース)
6. 内 容 即興スピーチ
7. 背 景

(1) 教材観

「OCI」では積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をねらって1分間モノログ、ブレーンストーミング、エッセイライティング、ピアレビュー、スピーチといった活動を行っている。今学期は11月にある校内スピーチコンテストに向けて「自分の意見を持ち、相手に伝えようとする」ことを目標に小グループ内で即興スピーチを取り入れ本時を含め、3時間目である。

(2) 生徒観

英語のコミュニケーション活動に対する関心は高いが、積極的に英語で発信する自信はなかなか持てないでいる。Show&Tellなどグループワークは期待以上のものを発表できるが、ペアワーク等の1分間モノログは未だ時間いっぱいには話せないものもある。

(3) 指導観

英語で積極的に発信していくためには、まず自分自身の意見を持ち、それをいかに聞き手に分かりやすく説明できるかを指導してきた。エッセイライティング等を通して、文章構成を意識した思考力や表現力を身につけると共に、間違いを恐れず英語を積極的に話す態度の育成にも力を入れていきたい。

9. 学習指導計画

時	学習内容・学習活動
1～4	エッセイの書き方、ブレーンストーミングや英検パターンのインタビューの練習
5～9	エッセイのピアレビュー、スピーチの仕方と発表練習
10～14	即興スピーチの練習（本時3時間目）

10. 本時案

(1) ねらい

- ① 積極的に英語で話すことができるようになる。
- ② 自分の考えを持ち、まとめていくことができるようになる。

(2) 準備物

・ジャッジシート ・ストップウォッチ ・テーマプリント

(3) 学習過程

流れ	時間	活動内容	指導(○)と評価(◎)の留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none">・impromptu speechesについて説明を聞く・話して、聞き手として心がけるべきことの確認。	<ul style="list-style-type: none">○即興スピーチの方法と留意点について再度確認する。◎評価シートの内容を確認する。
展開	40分	<ul style="list-style-type: none">①3つのグループに分かれ話し手は1分30秒間ブレインストーミングをしながらノートにアイデアを書き出す。(他の生徒も練習として各自メモをとる。)②与えられた話題に関して1分30秒間話す。③聞き手は評価シートにマークし、コメントをつける。	<ul style="list-style-type: none">○各グループに分かれコメントをつける。○学習効果を持たせるよう留意する。
まとめ	2分	<ul style="list-style-type: none">・本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none">◎総評を述べ、生徒の優れた点や改善できる点を指摘する。◎課題の確認